

社会の高齢化が進み、や障害者も急増して来た
町中を出歩く高齢者が増
えてる。バリアフリー
法の効果か、車椅子で外
に出する障害者を見かける
ことも多くなった。一方
で、大都市には高層ビル
が林立し、地下街やペデ
ストリアンデッキと複雑
に繋がる巨大な複合空間
が出現している。
そのような空間で火災
などの災害が発生した
ら、高齢者や障害者は安
全に避難できるのだろう
か。

今回は、そのような場
合の避難について考えて
みたい。

【エレベーターは使える
のか】
超高層ビルで火災が発
生した時、エレベーター
を使って避難することは
可能だろうか?「火災時
の避難にエレベーターは
使わない」というのは、
火災避難のイロハのイ
だ。「超高層ビルであつ
ても同じ」というのが、こ
れまでの常識だった。

だが、高齢者や障害者
が5階から地上まで階段
を使って避難すること
は、極めて困難だ。超高
層ビルが急増し、それ
のビルを利用する高齢者
が開いて、上階からの避
難が一段落するまで止ま
ておかなければならぬ
い。火災階より下の階の
人の避難は、さるもの
後になる。避難訓練の項
目に、「このようないコント
ロールを行つことを取り
入れ、担当者を決めて訓
練を徹底しておこう」とが
うに作られている。

高齢者や障害者の避難

や障害者も急増して来た
ため、その「極めて困難」
という事態が発生する可
能性が高くなり、改めて
その「常識」を見直す必
要が出て来ている。見直
しの流れは世界中で共通
しており、東京都の火災
予防審議会でも検討が始
まっている。

エレベーターで避難させ
た後は避難者が幾ら呼
んでエレベーターは来
るがどうやって仕分け
ないため、避難者をエレ
ベーターなら避難に使える
可能性はあるが、消防隊
到着後は避難者が幾ら呼
んでエレベーターは来
るがどうやって仕分け
ない、どうしてになり
危険だし、避難者がパニ
ックになる可能性もあ
るなど「できればエレベ
ーターを使いたい」と思
うのが普通だろう。いく
ら表示などで「火災時
エレベーター避難は高齢
者や障害者優先」とあつ
た。

難者が危険にさらされる
ことがある。

③避難者の数に比べて
その「非常用エレベー
ターナ」なら避難に使える
可能性はあるが、消防隊
到着後は避難者が幾ら呼
んでエレベーターは来
るがどうやって仕分け
ないため、避難者をエレ
ベーターで避難させ
た後は避難者が幾ら呼
んでエレベーターは来
るがどうやって仕分け
ない、どうしてになり
危険だし、避難者がパニ
ックになる可能性もあ
るなど「できればエレベ
ーターを使いたい」と思
うのが普通だろう。いく
ら表示などで「火災時
エレベーター避難は高齢
者や障害者優先」とあつ
た。

難が危険にさらされる
ことがある。

④最も早く避難する必
要があるのは火災階にい
る人だが、上階でエレベ
ーターが満員になると、
「避難用のエレベーター
を作つたひょうか」

以上を考へれば、非常
の間に火煙に巻われば

火災時には停電にな
ることが多いので、エレ
ベーターが宙吊りになつ
ているところを火煙に巻
われれば逃げようかな
ことなどが多ないので、エレ
ベーターが宙吊りになつ
ても同じ」というのが、こ
れまでの常識だった。

【非常用エレベーターは
使えないのか】
超高層ビルには、消防
隊が使うための「非常用
エレベーター」が設置さ
れてる。これは、①や
世界でも、大体その方向
ようにしなければならな
い。そのためには、火災
の熱でエレベーターが火災
階でエレベーターのドア
が開いて、上階からの避
難が一段落するまで止ま
ておかなければならぬ
い。火災階より下の階の
人の避難は、さるもの
後になる。避難訓練の項
目に、「このようないコント
ロールを行つことを取り
入れ、担当者を決めて訓
練を徹底しておこう」とが
うに作られている。

現在の建築基準法や消
防法ではそこまで考えら
れている。

地水火風

恒一牧野

難が一段落するまで止ま
ておかなければならぬ
い。火災階より下の階の
人の避難は、さるもの
後になる。避難訓練の項
目に、「このようないコント
ロールを行つことを取り
入れ、担当者を決めて訓
練を徹底しておこう」とが
うに作られている。

これが実際によ
うとする、なかなか
難しい。

だが、「これを実際によ
うとする、なかなか
難しい。

これが実際によ
うとする、なかなか
難しい。

利ないように、消防隊のコ
ントロールを優先するよ
うに作られている。

【誰がどうやって仕分け
るのか】
この「非常用エレベー
ターナ」なら避難に使える
可能性はあるが、消防隊
到着後は避難者が幾ら呼
んでエレベーターは来
るがどうやって仕分け
ないため、避難者をエレ
ベーターで避難させ
た後は避難者が幾ら呼
んでエレベーターは来
るがどうやって仕分け
ない、どうしてになり
危険だし、避難者がパニ
ックになる可能性もあ
るなど「できればエレベ
ーターを使いたい」と思
うのが普通だろう。いく
ら表示などで「火災時
エレベーター避難は高齢
者や障害者優先」とあつ
た。

難が危険にさらされる
ことがある。

③避難者の数に比べて
その「非常用エレベー
ターナ」なら避難に使える
可能性がある。取り残
された人に火煙が迫ると
危険だし、避難者がパニ
ックになる可能性もあ
るなど「できればエレベ
ーターを使いたい」と思
うのが普通だろう。いく
ら表示などで「火災時
エレベーター避難は高齢
者や障害者優先」とあつ
た。

難が危険にさらされる
ことがある。

④最も早く避難する必
要があるのは火災階にい
る人だが、上階でエレベ
ーターが満員になると、
「避難用のエレベーター
を作つたひょうか」

以上を考へれば、非常
の間に火煙に巻われば

火災時には停電にな
ることが多いので、エレ
ベーターが宙吊りになつ
ても同じ」というのが、こ
れまでの常識だった。

【非常用エレベーターは
使えないのか】
超高層ビルには、消防
隊が使うための「非常用
エレベーター」が設置さ
れてる。これは、①や
世界でも、大体その方向
のようにしなければならな
い。そのためには、火災
の熱でエレベーターが火災
階でエレベーターのドア
が開いて、上階からの避
難が一段落するまで止ま
ておかなければならぬ
い。火災階より下の階の
人の避難は、さるもの
後になる。避難訓練の項
目に、「このようないコント
ロールを行つことを取り
入れ、担当者を決めて訓
練を徹底しておこう」とが
うに作られている。

現在の建築基準法や消
防法ではそこまで考えら
れている。

これが実際によ
うとする、なかなか
難しい。

これが実際によ
うとする、なかなか
難しい。